

東京2020大会開催準備に関する主な取組について (令和3年6月時点)

(令和3年6月1日現在)

分類	事項		頁番号
大会の延期・感染症対策等	1	大会延期の決定、大会の簡素化、新型コロナウイルス感染症対策等	2
大会運営	2	ボランティア	3
	3	開閉会式	
	4	アクセシビリティの確保	
	5	多言語対応	4
	6	大会開催時の都市運営	
	7	セキュリティ	
	8	医療・アンチドーピング	
	9	暑さ対策	5
	10	飲食の提供	
	11	持続可能性への配慮	
	施設・輸送等	12	施設整備
13		施設開設準備・後利用	
14		競技・会場等	
15		選手村	7
16		輸送	
気運醸成	17	聖火リレー	8
	18	フラッグツアー	
	19	カウントダウンイベント	
	20	パラリンピック気運醸成	9
	21	マスコット等大会PR	10
	22	シティドレッシング・大規模展示物	
	23	ライブサイト	
	24	東京2020参画プログラム	
	25	都市鉱山でつくる！みんなのメダルプロジェクト	11
	26	競技力向上	
	27	事前キャンプ	
連携協力	28	被災地支援	12
	29	関係自治体等との連携	
レガシー	30	「2020年に向けた東京都の取組」	13
	31	経済波及効果	
	32	東京2020大会後の名称・設置物	
大会経費の管理	33	大会経費の管理	

※別添「新規恒久施設等の整備・利用状況」

大会の延期・感染症対策等

1	大会延期の決定、大会の簡素化、新型コロナウイルス感染症対策等	<p><令和2年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月24日 安倍内閣総理大臣とIOCバツハ会長が電話会談(小池知事、森会長、菅内閣官房長官、橋本大臣同席)概ね1年程度延期することを軸として、遅くとも2021年夏までの開催に向けて、具体的に検討していくことで一致(→IOC理事会で承認) ・3月30日 小池知事、バツハ会長、森会長、橋本大臣が大会日程について協議開催日程について、オリンピックは2021年7月23日～8月8日、パラリンピックは8月24日～9月5日で合意(→IOC臨時理事会で承認) ・4月16日 大会延期に伴う今後の大会準備の枠組みについてIOCと組織委員会が合意(エクゼクティブプロジェクトレビュー)→大会では会場と競技スケジュールを踏襲することが望ましい。 サービスレベルの水準を最適化・合理化する施策を検討するとともに、延期によるコスト削減を図る。 新型コロナウイルス感染症の影響につき、必要な対応策を計画に盛り込む。 ・6月10日 大会延期に伴う大会の位置づけ、原則、ロードマップを組織委員会がIOCに報告(IOC理事会) 7月7日 大会延期に伴う大会の位置づけ、原則、ロードマップを組織委員会がIPCに報告(IPC理事会) →選手、観客、関係者、ボランティア、大会スタッフにとって、安全・安心な環境を提供することを最優先課題とする。 延期に伴う費用を最小化し、都民・国民から理解と共感を得られるものにする。 安全且つ持続可能な大会とするため、大会を簡素(シンプル)なものとする。 ・7月17日 東京2020オリンピック競技大会の競技スケジュールを組織委員会が公表 8月3日 東京2020パラリンピック競技大会の競技スケジュールを組織委員会が公表 →競技会場は、2020年の計画と同一の施設を使用することで、2021年の大会の準備を進める。 ・9月4日 国・組織委員会等で構成する大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議(以下「調整会議」という。)の開催、以降これまで計7回開催 ・9月25日 大会の簡素化に係る52項目の内容にIOCと日本側が合意(IOC調整委員会) 10月7日 300億円の経費削減効果を組織委員会がIOCに報告(IOC理事会) ・10月7日 開催都市契約の付属合意書を修正 ・12月2日 コロナ対策の中間整理をとりまとめ(第6回調整会議) 12月4日 小池知事・森会長・橋本大臣の三者会談で、新型コロナウイルス感染症対策等の追加経費の負担について合意 12月22日 組織委員会が大会経費V5を公表 <p><令和3年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月3日 WHOなど専門家等との意見交換を踏まえ、感染症対策について選手、大会スタッフなどが守るべき事項を記載したプレイブック初版を組織委員会等が公表 ・3月3日 小池知事・橋本会長・丸川大臣・IOCバツハ会長・IPCパーソンズ会長の五者協議でコロナ対策、ジェンダー平等について、 認識を共有するとともに引き続き連携していくことを確認 ・3月20日 海外からの観客は受け入れないことを決定(五者協議) ・4月28日 変異株等に対応した追加的な対策をとりまとめ(第7回調整会議) 観客数に係る判断は6月に行うことに合意(五者協議) 組織委員会等がプレイブック第二版を公表 <p><今後の予定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織委員会が感染症対策センターを開設(6月) ・都は組織委員会と連携し、東京2020大会保健衛生支援東京拠点を開設(6月) ・プレイブック第三版の公表(6月) ・観客数に係る判断(6月)
---	--------------------------------	--

	事項	2019年度までの実施状況	2020年度以降の取組
大会運営			
2	ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都ボランティア活動推進協議会設置（平成27年9月） ・東京2020大会に向けたボランティアシンポジウム開催（平成28年1月・平成29年1月・平成30年1月） ・東京2020大会に向けたボランティアウェブサイト「東京ボランティアナビ」開設（平成28年3月） ・東京2020大会に向けたボランティア戦略策定（平成28年12月） ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会都市ボランティア募集要項公表（平成30年6月） ・ラグビーワールドカップ2019TM日本大会 大会ボランティア「TEAM NO-SIDE」募集（平成30年4月～7月）（約2,400人が東京会場で活動） ・東京2020大会のボランティア募集（平成30年9月～12月）（都市ボランティア応募者数：36,649人、大会ボランティア応募者数：204,680人） ・東京2020大会のボランティア名称決定（平成31年1月）（都市ボランティア：シティキャスト、大会ボランティア：フィールドキャスト） ・シティキャスト・フィールドキャストの面談・説明会（平成31年2月～7月）、研修（令和元年10月～） ・TEAM NO-SIDE（ラグビーワールドカップ2019TM日本大会 大会ボランティア）研修（平成31年2月～9月）、大会時の運営（令和元年9月～11月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通研修をオンラインにより再開（令和2年8月～） ・シティキャストに大会への期待等に関するアンケートの実施（令和2年8月） ・障害者サポートや東京の地理歴史等に関するオンライン研修（任意）実施（令和2年10月～） ・オンライン交流会を5回開催（令和2年度） ・シティキャスト感染予防マニュアル（概要）の公表（令和3年3月） ・役割・活動エリアの希望等の再確認（令和3年4月～） ・リーダー向けの研修（オンライン）（令和3年5月） <p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割別・配置場所別の研修（オンラインも活用）、ユニフォームの配付（令和3年6月～） ・シティキャスト感染予防マニュアルの改訂（令和3年6月） ・オンライン交流会の継続的な開催 ・大会後のボランティア活動継続に向けた意向確認（令和3年7月～）の上、関係局と連携し、ボランティア活動が継続できるよう取組を推進
3	開閉会式	<ul style="list-style-type: none"> ・組織委員会において「東京2020有識者懇談会」を設置し、開閉会式を含め、東京2020大会において日本と東京をどうアピールしていくか、東京2020大会の歴史的、社会的意義をどこに見出していくか等について検討（平成29年3月～） ・平成29年12月、基本コンセプト最終報告を取りまとめ今後開閉会式の基本プランを作成していく「東京2020開会式・閉会式4式典総合プランニングチーム」の設置を理事会で決定 ・平成30年7月、組織委員会が「基本プランの概要及び4式典の演出企画の実施体制」を公表 	<p><大会延期後の式典の方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・延期後の全体方針に基づき、式典についても、簡素化・コスト削減を実施 ・「平和」「共生」「復興」「未来」等を含む基本コンセプト、4つの式典を一連の四部作と捉える、メリハリをつけて構成する等の基本プランは維持 ・コロナ禍を踏まえたメッセージを演出内容に反映 <p>・組織委員会において、上記方向性に基づき、4式典の演出企画、演出内容等を検討中</p>
4	アクセシビリティの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン<暫定基準>承認（平成28年1月） ・都立競技施設におけるアクセシビリティ・ワークショップ実施（平成28年3月～平成31年2月） ・Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン<全編>公表（平成29年3月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・都立競技施設について、「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」や、「アクセシビリティ・ワークショップ」でいただいた意見などを踏まえて、適切に対応

	事項	2019年度までの実施状況	2020年度以降の取組
5	多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> 多言語対応協議会の開催（平成26年3月～9回開催） 交通、道路、観光・サービス分科会の設置（平成26年3月） 小売プロジェクトチームの設置（平成29年6月） 多言語対応・ICT化推進フォーラム開催（平成27年7月、平成28年12月、平成30年1月、平成30年12月、令和元年12月） 区市町村職員向け多言語対応・ICT化推進セミナー開催（平成28年7月、平成29年5月、7月、平成30年6月、令和元年6月、7月） 多言語放送システムの整備（令和元年度） 	<ul style="list-style-type: none"> 多言語対応協議会/フォーラムオンライン開催（令和2年12月） 多言語放送システムの追加整備（感染症対策アナウンス追加等）（令和2年度） <p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> 大会時の多言語放送システムの運用について組織委員会と調整 協議会を通じて、表示・標識等の多言語対応に取り組むとともに、多言語音声翻訳システムなどICTの活用を推進
6	大会開催時の都市運営	<ul style="list-style-type: none"> 大会開催時の行政サービス需要への的確な対応など、都市機能を維持し、円滑な大会運営を支えるための取組について庁内横断的に検討 東京2020大会における都市運営に係る基本方針策定（平成30年3月） 東京2020大会における都市オペレーションセンター運営計画の策定（平成31年3月） 東京2020大会における都市オペレーションセンター運営計画を第二版として改定（令和2年3月） 	<ul style="list-style-type: none"> テストイベント等を活用した実地訓練などを通じた検証、計画の見直し・改善 <p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> 都市オペレーションセンター運営計画を第三版として改定（令和3年6月） 都市オペレーションセンターの設置（令和3年7月）
7	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> 「治安対策」「サイバーセキュリティ」「災害対策」「感染症対策」の4つの視点から、各種事態を想定した「東京2020大会の安全・安心の確保のための対処要領（第一版）」を策定（平成30年3月） 庁内各局、国、組織委員会、区市町村や重要インフラ事業者で構成する「東京2020大会に向けた東京都安全・安心推進会議」を設置（平成30年7月） 対処要領を第二版として改定（平成31年4月） 	<ul style="list-style-type: none"> 各分科会等での図上訓練等による検証活動（令和2年7月～） <p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> 対処要領を第三版として改定（令和3年6月） 組織委員会等の関係機関と連携した災害対応実地訓練の実施（令和3年6月下旬頃）
8	医療・アンチドーピング	<ul style="list-style-type: none"> 大会時の医療体制構築に向けて関係機関と連携して検討 	<ul style="list-style-type: none"> 大会指定病院の指定や選手村総合診療所・各競技会場の医務室の設置など大会時の医療体制を構築 ラストマイルの救護体制を構築 組織委員会が大会専用アンチ・ドーピングラボを運営 救急・感染症医療の専門家等の意見を踏まえた新型コロナウイルス感染症対策の具体化

	事項	2019年度までの実施状況	2020年度以降の取組
9	暑さ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・遮熱性舗装の導入や、街路樹の計画的な剪定による緑陰の確保、微細ミストを設置したクールスポットの創出などを実施 ・ラストマイル沿道等における観客向けの暑さ対策について、テストイベントにおいて、組織委員会等と連携し、テントやミストの設置等のハード対策、ネッククーラーやうちわの配布等のソフト対策の試行・検証を実施（令和元年7月～9月） ・組織委員会においても、アスリート向けの休憩所やアイシング等、観客向けの日除けテントや水飲み場の増設、ボランティアやスタッフ向けの飲料水、暑さ対策グッズの配布など、更に対策を強化 ・テストイベントでの試行・検証結果を踏まえ、日陰の創出や暑さ対策グッズの配布を拡充するほか、新たに飲料を配布するなど、更に対策を強化 	<p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会本番において、組織委員会等と連携し、観客、大会スタッフ、選手などステークホルダー別に、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、ハード・ソフト両面から効果的な対策を実施
10	飲食の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・組織委員会において「持続可能性に配慮した農産物・畜産物・水産物の調達基準」を策定（平成29年3月） ・組織委員会において「飲食提供に係る基本戦略」を策定（平成30年3月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ビジネスチャンスナビ2020」の活用による大会関連調達への事業者の参加促進 ・東京都産食材の活用を推進するため、都内の農畜水産物の生産者等に対して認証取得を支援
11	持続可能性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・組織委員会において「持続可能性に配慮した運営計画」を策定（第一版 平成29年1月）、（第二版 平成30年6月） ・組織委員会において「持続可能性に配慮した調達コード」を策定（第一版 平成29年3月）、（第二版 平成30年6月）、（第三版 平成31年1月） <p><木材（平成28年6月策定、平成31年1月改定）、農産物・畜産物・水産物（平成29年3月）、紙・パーム油（平成30年6月）については個別基準を策定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織委員会が選手村ビレッジプラザにおいて全国の木材を活用し、大会後にレガシーとして後利用を図る事業を実施（平成29年7月） ・組織委員会において「持続可能性進捗状況報告書」を公表（平成31年3月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織委員会において「持続可能性大会前報告書」を公表（令和2年4月） <p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織委員会において「持続可能性大会前報告書 追補版」を公表（令和3年6月） ・組織委員会において「持続可能性大会後報告書」を公表（令和3年12月予定）
施設・輸送等			
12	施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・夢の島公園アーチェリー場（平成31年2月竣工） ・海の森水上競技場（令和元年5月竣工） ・大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場（令和元年6月竣工） ・有明アリーナ（令和元年12月竣工） ・カヌー・スラロームセンター（令和元年12月竣工） ・東京アクアティクスセンター（令和2年2月竣工） ・有明テニスの森公園テニス施設（令和2年3月竣工） 	<ul style="list-style-type: none"> ・大会後再開業に向けた設計及び工事の実施（別添参照）

	事項	2019年度までの実施状況	2020年度以降の取組
13	施設開設準備・後利用	<ul style="list-style-type: none"> ・新規恒久施設等の後利用に関するアドバイザー会議の開催（平成26年12月から平成29年3月まで5回開催） ・新規恒久施設に係る後利用の方向性の公表（平成27年6月） ・施設運営計画策定支援事業者の決定（平成27年10月） ・新規恒久施設の施設運営計画の公表（平成29年4月） ・有明アリーナの管理運営に関する基本的考え方の公表（平成29年8月） ・有明アリーナの公共施設等運営権に係る実施方針に関する条例の新設及び有明アリーナ管理運営事業実施方針の公表（平成29年12月） ・東京都体育施設条例の改正（平成30年3月） ・特定事業（有明アリーナ管理運営事業）の選定（平成30年5月） ・新規恒久施設（有明アリーナを除く。）指定管理者の指定（平成30年10月） ・有明アリーナ運営権者候補者の選定（平成31年3月） ・有明アリーナ公共施設等運営権設定の議決（令和元年6月） <p>※ 新規恒久施設： 海の森水上競技場、夢の島公園アーチェリー場 カヌー・スラロームセンター 大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場 東京アクアティクスセンター、有明アリーナ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大会延期を受け、施設利用を実施（令和2年7月～令和3年3月） ・大会延期を受け、有明アリーナの公共施設等運営権設定について終期を1年延長して改めて議決（令和3年3月） ・大会後再開業（別添参照）に向けた準備を推進
14	競技・会場等	<p><競技・種目、競技会場></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック：33競技の42会場がIOC理事会で承認済み ・パラリンピック：22競技の21会場がIPC理事会で承認済み <p>→オリンピック・パラリンピックの全ての競技会場が決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公道を使用する競技（マラソン・競歩・トライアスロン・自転車ロードレース）の全てのコースが決定 <p><競技日程></p> <ul style="list-style-type: none"> ・セッションスケジュールを公表（オリ：平成30年7月、パラ：10月） ・種目実施日程を公表（オリ：平成31年4月） <p><テストイベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京2020テストイベントカレンダーを公表（平成31年1月） <p><練習会場></p> <ul style="list-style-type: none"> ・区有施設の利用について、区長会において協力依頼（平成28年2月、29年7月、30年6月） ・練習会場リストをIOC・IPCに提出（平成29年8月） ・都立施設の練習会場（駒沢オリンピック公園総合運動場、東京武道館）について公表（平成31年4月） ・現在、組織委員会が、IF（国際競技団体）や区等と調整中 <p><普及啓発></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントにおいて、オリンピック及びパラリンピック競技を含めた体験コーナーを設置（スポーツ博覧会）（平成21年度～30年度） ・駒沢オリンピック公園総合運動場内、オリンピックメモリアルギャラリーにおいて競技・種目に関する展示・体験コーナーを設置 	<p><競技日程></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会の延期に伴う競技スケジュール（種目実施日程）の公表（オリ：令和2年7月、パラ：令和2年8月） <p><テストイベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会の延期に伴う東京2020テストイベントカレンダーの公表（令和2年11月） ・16競技のテストイベントを実施（令和3年4月～5月） <p><練習会場></p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習会場計画についてIFの内諾を得た施設について、組織委員会が、施設所有者の区等と調整を実施 ・都立施設の練習会場（駒沢オリンピック公園総合運動場、東京武道館、代々木公園、辰巳の森海浜公園、若洲海浜公園及び若洲海浜公園ヨット訓練所）の使用期間を公表（令和2年12月） <p><今後の取組></p> <p><普及啓発></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントにおいて、オリンピック及びパラリンピックの競技・種目の体験コーナーを実施

	事項	2019年度までの実施状況	2020年度以降の取組
15	選手村	<ul style="list-style-type: none"> ・選手村の施設概要、宿泊棟の整備、概略工程の公表（平成26年9月） ・選手村 大会終了後における住宅棟のモデルプランの公表（平成26年12月） ・晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業の認可取得（平成28年4月） ・組織委員会が選手村の会場コンセプト計画及びマスタープランの策定（平成29年3月） ・組織委員会が大会時の仮設施設の設計の実施 ・組織委員会と特定建築者が宿泊棟大会時内装工事の契約を締結（平成30年3月） ・組織委員会がメインダイニング、ビレッジプラザ等の仮設施設の工事の実施（平成30年10月～） ・都と特定建築者が定期建物賃貸借の契約を締結（平成31年4月） ・宿泊棟大会時内装工事の整備が完了（令和元年12月） ・組織委員会が運営準備を開始（令和2年1月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・大会延期に伴い、都と特定建築者が新たな定期建物賃貸借の契約を締結（令和2年11月） <p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊棟の大会時内装撤去及び仮設施設の解体工事等
16	輸送	<p>組織委員会と共同で以下の取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸送連絡調整会議（平成27年7月～令和2年3月までに11回開催） 課題、スケジュールの整理及び基本的な考え方について検討 ・交通輸送技術検討会（平成29年6月～令和2年3月までに7回開催） 大会時の交通行動の見直しに関し、交通工学、物流等の学識経験者を中心に、専門的見地から検討 ・輸送運営計画V1を策定（平成29年6月） 基本的な考え方や検討・取組状況を取りまとめたもの ・TDM推進に向けた基本方針（案）を策定（平成30年4月） ・東京2020大会の交通マネジメントに関する提言を策定（令和元年5月） ・スムーズビズ推進期間における試行の実施（令和元年7月から9月） ・東京2020大会における首都高速道路の料金施策に関する方針の公表（令和元年10月） ・輸送運営計画V2を策定（令和元年12月） 輸送計画の詳細を提示 ・2020物流TDM実行協議会を設立（令和2年1月） 東京圏の中小企業等を対象に大会に向けたTDMの取組を支援 	<p>組織委員会と共同で以下の取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸送連絡調整会議を3回開催（令和2年度） ・会場周辺交通対策の更新（令和2年12月、令和3年3月） ・練習会場ルート、代替ルートを公表（令和2年12月） ・輸送運営計画V2を更新（令和3年2月） 令和2年4月以降の交通量の状況等から、交通対策の考え方、実施方針等はこれまでと同様 <p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の状況変化に応じて、輸送連絡調整会議等を随時開催 ・区市とも連携し、競技会場周辺の地元や企業等へ大会時の交通規制について引き続き説明 ・大会本番に向け、都民や事業者への情報提供・広報を展開 ・輸送センター設置（令和3年7月）

	事項	2019年度までの実施状況	2020年度以降の取組
気運醸成			
17	聖火リレー	<ul style="list-style-type: none"> 組織委員会において聖火リレー検討委員会を設置し、聖火リレーのコンセプトやルート策定の基本方針等について検討開始（平成29年2月） 全国知事会において聖火リレー準備会議を設置（平成29年9月） 調整会議において、オリンピック聖火リレーコンセプトの内容を公表（平成30年4月） 東京都聖火リレー実行委員会を設置（平成30年7月） オリンピック聖火リレーの都内区市町村の巡回順及びセレブレーション会場の公表（令和元年6月） オリンピック聖火ランナーの募集（令和元年7月1日～8月31日） パラリンピック聖火リレーの都内実施自治体の公表（令和元年11月） パラリンピック聖火ランナーの募集（令和元年12月16日～令和2年2月15日） オリンピック聖火リレーのルート公表（令和元年12月） オリンピック聖火ランナーの公表（令和元年12月、令和2年2月、3月） オリンピック聖火リレーリハーサルを実施（令和2年2月） 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな聖火リレーの日程、実施方法を組織委員会が公表（令和2年9月） 延期後のオリンピック聖火リレー都内実施区市町村及びセレブレーション会場を公表（令和2年12月） 聖火リレーにおける新型コロナウイルス感染症対策を組織委員会が公表（令和3年2月） オリンピック聖火リレーのルート公表（令和3年3月） 福島県においてオリンピック聖火リレーグランドスタート（令和3年3月25日） パラリンピック聖火リレーの都内通過自治体及びセレブレーション会場の公表（令和3年3月） パラリンピック聖火リレーのルート公表（令和3年5月） <p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> 都内オリンピック聖火ランナーの公表（令和3年6月末） 都内オリンピック聖火リレーの実施・運営（令和3年7月9日～23日） 都内パラリンピック聖火ランナーの公表（令和3年8月上旬） 都内パラリンピック聖火リレーの実施・運営（令和3年8月20日～8月24日）
18	フラッグツアー	<ul style="list-style-type: none"> フラッグツアーキックオフイベント（平成28年9月21日） 都内62区市町村での実施（平成28年10月～平成29年6月） 福島県、宮城県、岩手県、熊本県での実施（平成28年11月～平成29年4月） フラッグツアーフェスティバル（平成29年7月24日） 被災地に続き、全道府県での実施（平成29年7月～平成29年度19道県巡回、平成30年度23府県） フラッグツアーファイナルイベント（平成31年3月30日） フラッグ展示コーナーを第一本庁舎2階に開設（平成28年11月1日） 全国で開催されるイベントと連携した全国気運醸成事業（令和元年7月～11月） 	<ul style="list-style-type: none"> フラッグ展示コーナーの運営 <p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> 展示コーナーのフラッグをパリ市へ引き継ぎ
19	カウントダウンイベント	<ul style="list-style-type: none"> 東京2020オリンピックカウントダウンイベント 2020日前（平成27年1月12日）、5年前（平成27年7月24日）、4年前（平成28年7月24日）、3年前（平成29年7月24日）、1000日前（平成29年10月28日）、2年前（平成30年7月24日）、1年前（令和元年7月24日） 東京2020パラリンピックカウントダウンイベント 2000日前（平成27年3月5日）、5年前（平成27年8月25日）、4年前（平成28年8月25日）、3年前（平成29年8月25日）、1000日前（平成29年11月29日）、2年前（平成30年8月25日）、1年前（令和元年8月25日） 東京2020大会500日前カウントダウンイベント フラッグツアーファイナルイベントと同時開催（平成31年3月30日） 大会開催年記念イベント（令和2年1月24日） 	<ul style="list-style-type: none"> 大会1年前プログラムを実施（令和2年7月23日） オリンピック100日前にオリンピックシンボル等をお披露目（令和3年4月14日） パラリンピック100日前にパラリンピックシンボルをお披露目（令和3年5月16日）

	事項	2019年度までの実施状況	2020年度以降の取組
20	パラリンピック気運醸成	<ul style="list-style-type: none"> 東京都パラリンピック体験プログラム「NO LIMITS CHALLENGE」を区市町村及び庁内各局と連携して実施 NO LIMITS CHALLENGEの特別版として「NO LIMITS SPECIAL GINZA & TOKYO」を実施（平成28年5月2日） 「NO LIMITS SPECIAL 大江戸ステーションスタジアム」（平成28年8月25日～9月21日）を実施 「NO LIMITS SPECIAL 2017 上野」を実施（平成29年5月6日～5月7日） 「NO LIMITS SPECIAL 2018 東京丸の内」を実施（平成30年5月5日・6日） 「NO LIMITS SPECIAL 2020」を実施（令和2年1月11日～12日） 22競技の紹介動画「みんなで楽しむパラスポーツ（みんなパラ）」を作成（平成28年4月） 東京2020パラリンピック大会及び競技をわかりやすく紹介する「東京2020パラリンピックハンドブック」を作成（平成31年4月）、配布 競技、日程、会場等が一覧できるパンフレット「みんなで観に行こう！東京2020パラリンピック」を作成（令和元年8月）、配布 パラリンピックマラソンPRリーフレットを作成（令和2年1月）、配布 	<ul style="list-style-type: none"> 「NO LIMITS CHALLENGE」を実施 東京2020パラリンピック気運醸成・パラスポーツの普及に向けた取組を実施 パラリンピック1年前（令和2年8月24日） パラリンピック300日前（令和2年10月26日） パラリンピック200日前（令和3年2月4日） パラリンピック半年前（令和3年2月24日） パラリンピック100日前（令和3年5月16日） 延期後の大会スケジュールなどを紹介するパンフレット「応援しよう！東京2020パラリンピック」をHPに掲載（令和3年4月） パラリンピックマラソンPRリーフレットの更新版公開（令和3年5月） <p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> 「NO LIMITS CHALLENGE」を引き続き実施 パラリンピック直前期の取組・発信
21	マスコット等大会PR	<ul style="list-style-type: none"> マスコット審査会設置（平成29年5月22日） 審査会による最終候補作品（3案）選考（平成29年12月7日） 全国の小学校のクラス単位での投票（平成29年12月11日～平成30年2月22日） 審査会で投票結果を承認し、デザインを発表（平成30年2月28日） ネーミング発表を含む正式なお披露目を経て、気運醸成に活用（平成30年7月～） マスコット等のデザインを活用したポスター・のぼり旗等の作成や都営バスラッピングを実施（平成30年7月～） 競技ピクトグラムの発表後、ポスターの作成や地下鉄車内広告等のPRを実施（平成31年3月～） バスラッピングの追加実施、電車ラッピングの実施（令和元年7月～） 新宿副都心4号線地下歩道光壁へのマスコットデザイン掲出（令和元年12月～） 旧築地市場跡地仮囲いへのマスコットデザイン掲出（令和2年3月） 	<ul style="list-style-type: none"> 電車ラッピングの追加実施（令和3年1月～） 都内の主要スポット等に大会マスコット像を設置（令和3年4月～） <p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> 大会期間中の各種イベントへのマスコット出演

	事項	2019年度までの実施状況	2020年度以降の取組
22	シティドレッシング・大規模展示物	<ul style="list-style-type: none"> 都庁舎及び議会棟へのエンブレムサイン掲示（平成28年5～6月） 横断幕、のぼり旗及びポスターを、都立施設・区市町村等で掲出（平成28年5月～） HANABIグラフィックを用いたサインを都民広場に掲出（平成29年10月） HANABIグラフィックを用いた懸垂幕等を都立施設及び区市町村庁舎等で掲出（平成29年11月中旬～） 民間施設を活用した装飾事業の開始（平成30年8月～） コアグラフィックスを用いたのぼり旗を都立施設・区市町村等で掲出（平成31年3月～） 「東京2020大会のシティドレッシング・大規模展示物基本計画（案）」を公表（平成31年1月） 「東京2020大会のシティドレッシング・大規模展示物基本計画」確定（平成31年4月） 	<ul style="list-style-type: none"> 「東京2020大会のシティドレッシング・大規模展示物基本計画」を基本とし、準備を推進 令和3年4月から順次、都内主要スポットに装飾を開始 民間施設を活用した装飾事業の推進
23	ライブサイト	<ul style="list-style-type: none"> 東京2020ライブサイトin2016 -リオから東京へ- リオ2016大会期間中、都内（上野恩賜公園、国営昭和記念公園）及び被災地（岩手県、宮城県、福島県）で実施 東京2020ライブサイトin2018の実施 オリンピック期間 都立井の頭恩賜公園 西園（平成30年2月10日～12日） 宮城県会場（平成30年2月17日） 福島県会場（平成30年2月18日） 都立シンボルプロムナード公園イーストプロムナード・石と光の広場（平成30年2月22日～24日） 岩手県会場（平成30年2月24日） パラリンピック期間 熊本県会場（平成30年3月10日） 都立日比谷公園（平成30年3月17日・18日） 「東京2020大会期間中のライブサイトに関する開催都市東京の考え方」を公表（平成30年4月27日） 「東京2020ライブサイト等基本計画（案）」を公表（平成31年1月） 「東京2020ライブサイト等基本計画」を公表（平成31年4月） 「東京2020ライブサイト等実施計画（案）」を公表（令和2年1月） 	<ul style="list-style-type: none"> 組織委員会が、コロナ対策調整会議の中間整理を踏まえ、「ライブサイト実施における新型コロナウイルス感染症対策の指針」を策定（令和2年12月） 都が、会場計画の変更、感染症対策の方向性等として、「東京2020ライブサイト等の実施について」を公表（令和2年12月） <p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> 「東京2020ライブサイト等実施計画」を公表（令和3年6月）
24	東京2020 参画プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 公認プログラムを開始（平成28年10月） 応援プログラムを一部先行開始（平成28年10月） 夏祭り向けの期間限定の特別プログラムを開始（平成29年6月） 応援プログラムを本格的に開始（平成29年7月） 祭り向けの期間限定の応援プログラムを開始（平成30年3月） 	<ul style="list-style-type: none"> 大会延期に伴いプログラム申請受付再開（令和2年7月～）

	事項	2019年度までの実施状況	2020年度以降の取組
25	都市鉱山でつくる！ みんなのメダル プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・組織委員会主催の本プロジェクトに協力し、都の先行取組として、都庁舎にメダル協力ボックスを設置（平成29年2月16日） ※都庁での受付数145,934個（平成31年3月31日最終値） ・組織委員会の「都市鉱山でつくる！みんなのメダルプロジェクト」が全国での回収開始（平成29年4月1日） ※全国参加自治体での回収約67,180トン、NTTドコモでの回収約575万台（平成29年4月～平成31年1月） ・メダル製作に必要な金属量を確保できる見通しがついたため、プロジェクトとしての回収受付を終了（平成31年3月31日） ・組織委員会においてメダルデザインの公表（平成31年7月24日） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京2020大会ガイドブック」等にて、取組の成果を紹介
26	競技力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・東京アスリート認定制度（平成28年度～） ・日本代表候補選考会出場選手強化事業（平成26年度～） ・グローバル指導者育成事業（平成28年度～） ・障害者スポーツ競技活動支援事業（平成27年度～） ・障害者スポーツ次世代ホープ発掘事業（令和元年度～） ・東京都パラリンピック選手発掘プログラム（平成27年度～平成30年度） ・東京ゆかりパラリンピック出場候補者強化事業（平成28年度～） ・障害者スポーツ選手育成事業（平成29年度～平成30年度） ・障害者スポーツ団体基盤強化事業（平成29年度～令和元年度） ・障害者スポーツ団体体制強化支援事業（令和2年度～） 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き東京ゆかりの選手を認定しその活動を支援するとともに、グローバル指導者育成事業を推進 <p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際大会で活躍するパラアスリートを都内から継続的に輩出していくとともに、競技スポーツに取り組む障害のある人を増やす取組を推進 ・都内で活動する障害者スポーツ競技団体を様々な形で支援
27	事前キャンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・国際スポーツ大会や国際会議の開催に合わせて、PR活動を実施 ・各国NOC等による都内区市町村への視察の際、受入支援を実施（平成27年2月～） ・都のホームページに「東京 事前キャンプガイド」を開設し、都内区市町村施設を紹介するとともに、東日本大震災被災3県を含め全国のキャンプ候補地情報サイトを掲載（平成28年7月～） ・都内の事前キャンプ覚書等締結実績 令和2年3月31日現在【10区、9市、民間1】 	<ul style="list-style-type: none"> ・都内の事前キャンプ覚書等締結実績 令和3年6月1日現在【10区、8市、民間1】 ・事前キャンプにおいて必要な感染症対策を実施するため、受入自治体へ補助金（国が令和2年度第3次補正予算で措置）を交付 <p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前キャンプ実施自治体が、感染防止対策をまとめた「受入マニュアル」を作成するとともに、受入れ準備を具体的に進められるよう、課題等への助言や、区市町村間で情報を共有し相互連携を図れるよう支援

	事項	2019年度までの実施状況	2020年度以降の取組
連携協力			
28	被災地支援	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ交流事業(平成23年度～) ・スポーツ観戦招待事業(平成23年度～) ・未来(あした)への道1000km縦断リレー(平成25年度～) ・東京マラソン10km招待事業(平成23年度～) ・東日本大震災被災地復興支援映像作成(平成28年4月) ・熊本地震被災地復興支援映像作成(平成30年2月) →都庁2階デジタルサイネージや平昌大会ジャパンハウス等で放映 ・全世界に向けた被災地復興発信事業 (被災地メディアツアー)(平成30・令和元年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災等被災地復興支援映像「2020年と、その先の未来へ」作成(令和2年11月) <p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興記念植樹や被災地子供観戦招待事業等、東京2020大会開催時に実施を予定している取組の検討・調整 ・引き続きスポーツを通じた被災地復興支援の取組
29	関係自治体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・関係自治体等連絡協議会(平成27年11月27日及び平成29年5月31日) ・同協議会幹事会(平成27年12月～平成29年4月に7回) ・同協議会作業チーム(平成29年1月～12月に6回) ・全国自治宝くじ事務協議会及び各省庁に対し、財源に関する共同要望を提出(平成29年9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き協議会等を通じ、関係自治体等と緊密に連携
レガシー			
30	「2020年に向けた東京都の取組」	<ul style="list-style-type: none"> ・「2020年に向けた東京都の取組(素案)」を公表(平成27年11月) ・「2020年に向けた東京都の取組」を策定(平成27年12月) ・日本語版・英語版の冊子を作成し、都内のイベントや説明会等で配布(平成28年1月～。平成30年1月以降は、増刷版の冊子を配布) ・「『未来の東京』戦略ビジョン」にて、大会に向けた取組を都市のレガシーとして発展させることを戦略の1つとして位置付け(令和元年12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大会のレガシーを都市のレガシーへと発展させる取組を「『未来の東京』戦略」に位置付け、全庁的に推進 <p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2020年に向けた東京都の取組」を改訂し、国内外に発信
31	経済波及効果	<ul style="list-style-type: none"> ・大会開催に伴う経済波及効果の試算結果を公表(平成29年3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「2020年に向けた東京都の取組」の内容を国内外に発信

	事項	2019年度までの実施状況	2020年度以降の取組
32	東京2020大会後の名称・設置物	<ul style="list-style-type: none"> 「東京2020大会後の名称・設置物（案）」公表（令和2年1月） 	<p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> IOC、IPCと契約の上、大会後、オリンピック・パラリンピックの名称の付与、大規模展示物及び銘板を順次設置予定（オリンピック・パラリンピックの名称付与） <ul style="list-style-type: none"> 有明オリンピック・パラリンピックパーク（仮称） 武蔵野の森オリンピック・パラリンピックパーク（仮称） （大規模展示物） <ul style="list-style-type: none"> オリンピック・パラリンピックシンボルを3か所に再設置 大会マスコット像を13か所に再設置 （大会エンブレム等を活用した銘板） <ul style="list-style-type: none"> 都は都立競技会場等21か所に設置 区市町村はロード競技のコース上や競技会場以外の大会関連場所（聖火リレー等）に設置
大会経費の管理			
33	大会経費の管理	<ul style="list-style-type: none"> 大会経費V1の公表（平成28年12月） 都、組織委員会、国、関係自治体による大会の役割（経費）分担に関する合意（大枠の合意）（平成29年5月） 共同実施事業管理委員会の設置（平成29年9月） 大会経費V2の公表（平成29年12月） 組織委員会と実施協定書を締結（平成30年3月） <ul style="list-style-type: none"> →計画、予算、執行の各段階で共同実施事業の経費を確認 大会経費V3の公表（平成30年12月） 大会経費V4の公表（令和元年12月） 	<ul style="list-style-type: none"> 大会の簡素化に係る52項目の内容にIOCと日本側が合意（令和2年9月） 大会の簡素化に係る経費削減効果（300億円）を組織委員会がIOCに報告（令和2年10月） 東京オリンピック・パラリンピック競技大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議において、中間整理をとりまとめ（令和2年12月） 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の追加経費の負担について合意（令和2年12月） 大会経費V5の公表（令和2年12月） <p>・関係者と連携し、共同実施事業の適切な遂行及び管理を通じて、コスト管理と執行統制の強化を図るとともに、大会経費V5をもとにして、経費削減や収入確保等の努力を継続</p>

新規恒久施設等の整備・利用状況

施設名 ※1	整備・利用状況※2					備考 (主な大会後工事の内容等)
	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	
(1) 東京アクアティクスセンター	実施設計・工事	大会前利用		大会後工事	再開業 (令和5年春頃)	<ul style="list-style-type: none"> 大会時仮設部分の撤去(外部階段・デッキ、一部観客席等) 内部工事(仮設撤去部分の内装・設備改修、膜天井張り等) 外構工事(駐車場・植栽等)
(2) 海の森水上競技場	実施設計・工事	大会前利用		大会後工事	再開業 (令和5年春頃) ※3	<ul style="list-style-type: none"> 外構工事(水際転落防止柵、植栽、多目的エリアのインフラ等) 仮設物有効活用による建築工事(倉庫等)
(3) 有明アリーナ	実施設計・工事	大会前利用		大会後追加工事	開業 (令和4年夏頃) ※4	<ul style="list-style-type: none"> 外構工事(広場・駐車場・植栽等) 内部工事(間仕切壁・座席設置等)
(4) カヌー・スラロームセンター	競技コース工事 管理棟工事	大会前利用		大会後工事	再開業 (令和5年春頃) ▲一部再開業を検討 (令和4年夏頃)	<ul style="list-style-type: none"> 外構工事(植栽・フェンス・観覧用スペース等)
(5) 大井ふ頭中央海浜公園 ホッケー競技場	工事	大会前利用		大会後工事	再開業 (令和4年夏頃)	<ul style="list-style-type: none"> 多目的サイズへのピッチ拡張 外構工事(芝生・舗装等)
(6) 夢の島公園アーチェリー場		大会前利用		再開業 (令和3年11月頃)		(大会後工事なし)
(7) 有明テニスの森公園テニス施設	ショーコート・ 屋内コート等 工事 屋外コート等工事	大会前利用		大会後工事	利用再開 (令和5年春頃) コロシアム・ショーコート インドアコート順次利用再開(令和4年春頃～)	<ul style="list-style-type: none"> コート工事(壁打ちコート整備、屋外コート改修等) 外構工事(駐車場整備・植栽・舗装等) 建物工事(便所・倉庫・休憩舎等)

東京2020大会

- ※1 施設名は、条例名称を表記
- ※2 東京2020大会後、各施設とも、大会後工事等の開始までの間に組織委員会による大会仮設物の撤去工事を実施。
大会後工事は、現場施工期間を示し、資材調達等の期間を含まない
- ※3 一部工事継続予定(建築工事の一部等)
- ※4 運営権者にて令和4年春頃より追加工事予定